



大里

冠岳と信仰のなごり

冠岳には豊かな植物群落がある。特にヒロウヤクワズイモは大里の神事に用いられ信仰に結びついている。また、冠岳には山岳信仰の痕跡がある。頂上には、冠大神、天狗様と呼ばれる次郎坊、太郎坊が、中腹には蔵王権現。いずれもいわゆる山伏が信仰したとされる。大里で散見する史跡は、人々が豊かな自然を敬った様子をいまに伝える。

【右下写真】九月祭で配られるご飯を包むヒロウの葉。各家庭の神棚に供えて病気の時に少しつつ食した。

思い出話

「冠神社には旗立てといつて島を離れる時に願掛けをする風習があります。願いを書いた白い布を竹に吊るして、冠岳麓からの山道を頂まで行き、これを木に結びます。今は自動車道で頂上へ行くので、山中腹から上の山道は消失しました。整備しても台風がすぐに道を消します。自然の力には圧倒されます。」

大里地区 六〇代 男性

【右上写真】旗立てのとき記念に名前などを木に彫り込むこともある。



8

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 旧 7/1	2 旧 7/2	3 旧 7/3
4 旧 7/4	5 旧 7/5	6 旧 7/6	7 旧 7/7	8 旧 7/8	9 旧 7/9	10 旧 7/10
11 山の日 旧 7/11	12 振替休日 旧 7/12	13 旧 7/13	14 旧 7/14	15 旧 7/15	16 旧 7/16	17 旧 7/17
18 旧 7/18	19 旧 7/19	20 旧 7/20	21 旧 7/21	22 旧 7/22	23 旧 7/23	24 旧 7/24
25 旧 7/25	26 旧 7/26	27 旧 7/27	28 旧 7/28	29 旧 7/29	30 旧 8/1	31 旧 8/2